



2020年6月30日

各 位

会社名 参天製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼CEO 谷内 樹生
(コード番号 4536 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーショングループ
吉川 明子
(Tel: 06-4802-9360)

参天製薬とシンガポールのヘルステック企業 Plano 社 世界の近視患者さんの負担に対処するため、戦略的提携を締結

2020年6月30日、参天製薬株式会社（以下、参天製薬）と Plano Pte. Ltd.（以下、Plano 社）は、世界の近視患者さんが抱える負担に対処するため、戦略的提携を締結したことをお知らせします。この提携により、Plano 社は参天製薬から資金を調達することになります。参天製薬は、Plano 社を通じて、世界の近視患者さんが抱えるさまざまな負担に対し、包括的で、革新的なテクノロジーによる解決策の提供に取り組めます。

参天製薬は、眼科領域におけるリーディングカンパニーとして、患者さんや医療従事者をはじめ、徹底した顧客志向をもとに、眼科に特化した専門性・技術力を培ってきました。近年では、メディカルデバイスやデジタルテクノロジー等にも目を向け、国や地域ごとの顧客ニーズに対応した活動や、幅広い疾患領域をカバーする製品ラインナップやソリューションの提供を通じて、世界の人々の目の健康づくりに貢献できるようチャレンジを続けています。

Plano 社は、2017年に眼科の Mohamed Dirani 准教授により設立された、眼科領域のヘルステックのスタートアップ企業で、眼科研究開発プロジェクトの商業化と医療展開への加速を目指す、Singapore Eye Research Institute (SERI) - Singapore National Eye Centre (SNEC)「眼科技術インキュベータープログラム」から初めての独立した企業です。同社の主要な製品・サービスには、「plano アプリ」やオンライン検眼予約システムである「Plano Eyecheck」等があります。科学的根拠に基づき構築された「plano アプリ」は、これまで25万世帯以上の方々に使われてきました。2017年の設立からわずか3年で、近視の予防や検出、リスクに関して、人々の意識を高め教育する世界的なリーディングカンパニーの一つとして、認知されるようになりました。

近視は、深刻な健康上の課題の一つで、世界人口の約28%にあたる推定20億人が罹患しています。2050年には、世界で50億人が近視になり、世界人口の約半数の人が罹患すると予測されています¹。近視は、

さまざまな国のあらゆる年齢、性別、人種に影響を及ぼしますが、特に東アジアや東南アジアにおける先進国では、近視の罹患率が世界で最も高いことが知られています。シンガポール、香港、台湾では10代の男女で80～90%、韓国では19歳の男性の96.5%が近視という報告もあります²。約60年前は、中国の近視の罹患率はわずか10～20%でしたが³、現在ではヨーロッパや米国でも一般的になり、米国では約40%が罹患していると言われていています⁴。アジアでは近視の治療や屈折矯正に年間3,280億米ドル⁵、シンガポールだけでも年間7億5,500万米ドルが費やされているとの試算もあります⁶。

参天製薬代表取締役社長兼CEOの谷内樹生は、次のように述べています。「この度、Plano社と戦略的提携を締結できたことを嬉しく思います。この提携により、Plano社を通じて、シンガポールにおいて日常生活における近視の予防や抑制に対する意識向上やサポートを開始するとともに、他の地域においても、この革新的なソリューションの普及を図ってまいります。当社は、世界での近視の急速な拡大を社会的課題と認識し、眼科領域のグローバルリーダーとして、Plano社と連携し、近視に関する課題の解決と世界中の患者さんのQOL向上に貢献してまいります」

Plano社のマネージング・ディレクターである、Mohamed Dirani 准教授は、次のように述べています。「この度の参天製薬との戦略的提携と資金調達は、ユーザーのエンゲージメントを高め、ビッグデータ解析と人工知能(AI)に関する弊社の能力を強化し、国際展開を推進する上で重要な役割を果たします。近視を重大な課題と認識している参天製薬との提携は、Plano社の製品・サービスの拡充、近視を中心としたエコシステムの地域展開や、近視抑制のための、人を中心とした発想の新たな製品の開発等の目標とともに取り組む上で、非常に重要です。眼科医療で130年以上もリーダーシップを発揮してきた参天製薬と提携できることを嬉しく思いますし、優秀なチームと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。この提携は、Plano社のチームに自信や気づきや新たな可能性をもたらし、この先駆的なサービスをシンガポールや他の地域により効果的に普及させることに繋がります。本取り組みの一員であることは光栄で、この戦略的提携によりPlano社がさらに発展すると信じています」

SNECのメディカル・ディレクターであるWong Tien Yin 教授は、次のように述べています。「近視は、アジア地域を中心に、世界でも重要な健康上の課題です。この疾患による影響や、主要なリスク、視力障害を防ぐための近視の進行抑制方法等について、啓発を続ける必要があります。小児では、屋外活動の機会を増やすことと、過度の近見作業を減らすことの組み合わせが重要です。SERI/SNECの「インキュベーターフレームワーク」から設立されたスタートアップ企業であるPlano社と、SNECが数年にわたって戦略的研究開発の広範な協力関係を築いてきた眼科領域のリーディングカンパニーである参天製薬との間で、パートナーシップが締結されることを大変嬉しく思います。Plano社の成長は、シンガポールの臨床施設には国際的な競争力があり、スタートアップ企業を生み出す能力があるということを示すものです」

今後は、親と子供向けの新しいアプリのインターフェイス、機能改善、そして世界で初めてのAIを活用した子供の近視の発症・進行・症状の安定化を予測する機能付加などを予定しています。

1. Holden BA, Fricke TR, Wilson DA, Jong M, Naidoo KS, Sankaridurg P, et al. Global Prevalence of Myopia and High Myopia and Temporal Trends from 2000 through 2050. *Ophthalmology*. 2016;123(5):1036-42.
2. Dolin E. The myopia boom. *Nature*. 2015;519(7543):276-8.
3. Morgan IG, French AN, Ashby RS, Guo X, Ding X, He M, et al. The epidemics of myopia: Aetiology and prevention. *Progress in Retinal & Eye Research*. 2017.
4. Vitale S, Sperduto RD, Ferris FL, 3rd. Increased prevalence of myopia in the United States between 1971- 1972 and 1999-2004. *Arch Ophthalmol*. 2009;127(12):1632-9.
5. World Health Organization. The impact of myopia and high myopia: Report of the Joint World Health Organization - Brien Holden Vision Institute Global Scientific Meeting on Myopia. University of New South Wales, Sydney, Australia: 2015.
6. Zheng YF, Pan CW, Chay J, Wong TY, Finkelstein E, Saw SM. The economic cost of myopia in adults aged over 40 years in Singapore. *Investigative Ophthalmology & Visual Science*. 2013;54(12):7532-7.

以上

参天製薬（参天製薬株式会社、本社：大阪市）について

参天製薬は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医療用・一般用の医薬品や、医療機器の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っています。世界約 60 を超える国・地域で製品を販売しており、国内の医療用眼科薬市場においては **No.1** のシェアを有しています。130 年近く歴史の中で培われた科学的知見や企業力を活かし、今後も、価値ある製品・サービスの提供を通じ、患者さんや患者さんを愛する人たちを中心として、社会への貢献を果たしてまいります。詳細については、当社ホームページ www.santen.co.jp をご参照ください。

Plano 社について

Plano 社は、「To save sight and empower lives」という明確な目標をもって設立されました。Plano 社は、科学的研究を基礎にしながら既成概念にとらわれない思考を持つことを組織文化としており、革新的な技術の利用を促進することで、デジタルデバイスの過剰な使用によってもたらされる公衆衛生上、社会的、経済的な課題解決のためのソリューションを提供しています。Plano 社の創立者であるマネージング・ディレクターの Mohamed Dirani 准教授は、生涯を近視の研究に捧げ、Duke-NUS Medical School で非常勤の准教授を務め、SERI と Centre for Eye Research Australia (CERA) の名誉主任研究員を務めています。詳細については、当社ホームページ www.plano.co をご参照ください。

参天製薬の将来見通しに関する注意事項 (Forward-Looking Statements)

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(“Forward-Looking Statements”)が含まれています。これらの見通しの実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きます。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。